



運動会に向けて

校長 石田 和義

10月12日の運動会には、保護者、地域の皆様からたくさんの応援をいただきました。本当にありがとうございました。本年度のスローガン「今の自分を超えろ！仲間と技を磨き心通う運動会」のもと、目当てをもち、進んで自分の限界に挑戦する子どもたちの姿を見ることができました。目当てがはっきりし、仲間や家族、地域の応援があれば、子どもたちはこんなにも自分の可能性を信じて発揮するものなのか、と改めて驚くとともに、感心させられました。

8月28日の結団式から10月12日の運動会当日まで、子どもたちは、それぞれの目当てに向かってひたむきに取り組んできました。

9月になり、朝のトレーニングに進んで取り組む1年生の姿がありました。朝、いつものようにグラウンドに行くと、一人の女の子が「私、自分の限界まで走ったよ」と声をかけてくれたかと思うと、すぐにスタート地点に戻り、再び走り始めました。ちょっと自慢気に自分の成長を伝える姿にうれしく思うとともに、そのやる気に驚かされました。

その日の大休憩、手作りの玉を使って、学級ごとに玉入れの練習をする1年生の子どもたちの姿がありました。周りには、「1年生、がんばれ」「もっと入るよ」「最後まであきらめないで」と必死に応援する上級生の姿があり、学年を超えて互いに励まし、高め合う姿が見られました。

また、くらしづくり委員会の子どもたちが、「いよいよ今年も、運動会が近づいてきました。そこで、全校の皆さんで、誰もが気持ちよく利用できるグラウンドを目指して整えませんか」と全校に呼びかけ、「ちょボラ」（みんなのためにできるちょっとしたボランティア）を9月22日、25日、30日の3日間実施しました。その呼びかけに応じて、多くの子どもたちがグラウンドに集まりました。その結果、グラウンドの雑草や小石もなくなり、誰もが気持ちよく利用できるグラウンドになりました。運動会に向けて、自分たちが活動する環境を仲間と共に協力し合って、自ら整えようとする子どもたちです。



ちょボラに取り組む子ども



下級生にアドバイスをする子ども

10月に入り運動会本番が近づくにつれ、休み時間に下級生といっしょに競争したり、バトンパスを教えたりする6年生の子どもたちの姿が見られるようになりました。団のリーダーとして、“優勝するために何をなすべきなのか”、“仲間のためにできることは何か”、自分で考え、進んで取り組む子どもたちです。その姿から、最高学年としての使命感、責任感を感じることができました。

最後に、教職員の姿も紹介させていただきます。全体練習の日、朝早くからテントを設営し、ラインを引き、グラウンドを整地する教職員の姿がありました。全ての子どもたちが、安心して、安全な環境のもと、少しでも「自分の限界に挑戦し、仲間と技を磨き合い、心の通い合う運動会」になることを願う教職員です。

堀川小学校では、運動会という学校行事を大切にしています。それは、運動会当日だけでなく、その日に至るまでの間に、自分の目当てに向かって、時には苦しみ、思い悩んだりしながらも、仲間と支え、励まし合うことで乗り越え、子ども一人一人が自らの成長や達成感、成就感を感じることを期待しているからです。

保護者、地域の皆様には、運動会当日のことだけでなく、その日まで子ども一人一人がどんなことに挑戦したり、どんなことに努力したりしてきたのか聞いていただければと思います。よろしく願いいたします。

10月の行事予定



- 1日(水) 集金振替日 運動会全体練習①
- 2日(木) 委員会活動
- 3日(金) 運動会全体練習②
- 6日(月) 運動会全体練習③ 運動会係委員会活動
- 8日(水) 運動会予行
- 11日(土) 運動会
- 13日(月) ☆スポーツの日
- 14日(火) 振替休業日
- 15日(水) 避難訓練 安全点検
- 16日(木) 委員会活動 小中連携挨拶運動
- 17日(金) 小中連携挨拶運動
富山市ガラス美術館及び富山市図書館本館の小学校招待プログラム(4年生)
- 22日(水) 就学時健康診断
- 23日(木) 堀川チャレンジ活動
情報モラル講座(5年1組)
(5年2組)
- 24日(金) 情報モラル講座(5年3組)
- 28日(火) こころの劇場(6年生)
- 30日(木) 委員会活動
- 31日(金) 堀小ふれあいフェスティバル前日準備



※状況によっては、変更する場合があります。

11月の行事予定



- 1日(土) 堀小ふれあいフェスティバル
- 2日(日) 陸上全国大会 ちびっ子相撲GO
- 3日(月) ☆文化の日
- 4日(月) 集金振替日
- 5日(水) 小学校教育課程研究会(県東部)
午後(給食なし)
交通安全ポスター・標語授賞式
- 6日(水) 心臓検診(1年)
- 6日(水) 堀川チャレンジ活動
- 10日(月) 富山市チャレンジ陸上記録会
教育相談①午後短縮
- 11日(火) 富山市科学館利用(4年)
教育相談②午後短縮
- 12日(水) 自衛消防訓練(予定)
- 13日(木) 委員会活動
- 14日(金) 安全点検 教育相談③午後短縮
全体研修(なかよし1組)授業研究
- 15日(土) 資源回収③
BFC火災予防研究発表会
- 17日(月) 富山市小教研15:00(短縮5限)
集団宿泊学習こどもの村(5年)
【~19日金】
- 18日(火) 教育相談③午後短縮
- 20日(木) 堀川チャレンジ活動
- 21日(金) 学習参観 親学び講座
全国学力学習状況調査結果説明会(6年)
- 23日(日) ☆勤労感謝の日
- 24日(月) 振替休日
- 25日(火) 学習のたしかめ週間【~28日(金)】
- 28日(金) 全体研修(5年1組)授業研究



敬老会という舞台で自信を深める

2年3組 森田 みはる

2年生は、9月20日に「堀川校下敬老の会」で歌とダンスを発表しました。Aさんは動きを覚えてスムーズにつなげて踊ることに苦手意識をもっており、くらしの時間でも「僕、踊るのが苦手なんだよね」と話していました。その言葉を聞き、Aさんにもっと自信をもって踊れるようになってほしいと考えた2年3組の子どもたちは、毎日、朝活動後にダンスの練習をしてはどうかと提案しました。Aさんは、正しい動きで踊りたいと思うあまり、表情が硬く、動きも小さくなっていました。ダンスの曲と動きのつながりが分かると覚えやすいのではないかと考えたBさんは、『冒険しよう』という歌詞だから、こんなふうに敬礼するよ」とAさんに動きを見せました。すると、下を向いて不安げに踊っていたAさんが、歌を口ずさみながら堂々とポーズを決めたのです。その様子を見ていた子どもたちから「その動き、いいね!」と声をかけられると、Aさんは笑顔になり、少しずつ大きく自然な動きで踊れるようになっていきました。



それからのAさんは、学年の練習にもより一層意欲をもって取り組むようになり、ダンスの練習では、失敗を恐れず楽しそうに踊るAさんの姿が見られました。また、ダンスだけでなく、歌の練習でも、「みんな みんな 生きているんだ 友達なんだ」の部分で、気持ちよく体を揺らしながら歌うAさんの姿が見られました。学年で振り返りを行った際、仲間から「どうして体を揺らしながら歌っているのか」と尋ねられたAさんは、「体を揺らした方が歌いやすいし、おじいちゃん、おばあちゃんにも楽しい気持ち伝わると思うからだよ」と生き生きとした表情で答えました。次の練習では、Aさんだけでなく、周りの仲間も体を揺らしながら歌う姿が見られ、より心のこもった歌声になっていきました。Aさんは仲間からのアドバイスのおかげで、音楽に合わせてリズムよく踊れるようになったこと、そして、その学びを生かした自分のアイディアが仲間にも広がっていったことに自信を深めたようでした。敬老の会当日、Aさんは少し緊張の表情を浮かべながらも、歌やダンスが始まると、リズムに合わせて楽しそうに体を動かしていました。

その日のAさんの日記には、「今まで頑張って練習してきたおかげで、堀川のおじいちゃん、おばあちゃんが歌とダンスを喜んでくれて嬉しかった」と記されていました。敬老の会という大きな舞台に向けて練習を続けてきたことで、相手を喜ばせるために直向きに努力を重ねることが、自分も相手も満足できる成果をもたらすことにつながるのだということを実感できたようでした。